



祝い水に臨む若衆(大館神明社祭典)

このコーナーでは、市内各地で行われるイベントや市民の活動をご紹介します。皆さんの身近で行われる楽しい催しなどありましたら、市役所総務課広報広聴係(☎43-7025)までお知らせください。



田乃坂を一気に駆け上がる

大館神明社祭典 (9月10日・11日)

五穀豊穡、商売繁盛、家内安全を祈念して、大館神明社祭典が行われ、各町内の曳山車15台と子どもみこし11台が市内を巡行しました。雨に見舞われることが多いため「雨祭り」とも言われる神明社の祭典。初日こそ晴天に恵まれましたが、2日目は大雨に見舞われました。各山車は笛や鐘、太鼓で奏でる大館囃子の軽快なリズムと「イヤサカサッカー、ヨーイヨイ」の掛け声とともに市内を練り歩きました。本祭の11日には、大町会場で「山車見世」やフィナーレを飾る「祭典祝い水」が行われ、詰め掛けた見物客からは拍手と歓声が上がっていました。

※山車は、通常「だし」と読みますが、大館では「やま」と呼んでいます。



見事な曳山車



クライマックスの祝い水

敬老会で子どもたちと交流 (9月4日)

市内各地区で敬老会が行われ、参加したお年寄りたちと子どもたちの交流が見られました。市内敬老会のトップを切って開かれた片山・餅田地区では、約100人が出席。ホテヤ幼稚園の園児たちがかわいらしい遊戯や歌などを披露したあと、列に入って一緒に手遊びをすると、参加者からは笑顔がこぼれていました。



交流で楽しい一時